

駐車場シェア × スポーツ・イベントで創る地域の新たな経済循環モデル

取組主体: akipa株式会社 × 豊田市

豊田市・名古屋グランパスと連携し、スポーツ試合やイベント時の駐車場不足・混雑解消のため1,500台分の駐車場を確保
新たなインフラを整備せずに駐車場シェアを活用することで、周辺住民に駐車場収益を還元
地域資源を効果的に活かし、利便性向上と地域創生を両立する新たな経済循環モデルを推進することで
地域の困りごとを解決しながら持続可能なまちづくりを実現する取り組みです

課題
や現状

- ・豊田市は「クルマのまち」として車の利用も多く、**イベント時の駐車場不足が深刻**
- ・豊田スタジアムでのサッカーの試合時には、**空き駐車場を探す車による渋滞・違法駐車・迷惑駐車が発生**
- ・イベント時の来訪者増加に対し駐車場が不足しており、**地域住民の生活にも影響を及ぼしていた**
- ・新たなインフラ整備にはコストと時間がかかるため、**既存の遊休地活用が求められていた**

解決策や
アイデア

- ・豊田市・J1名古屋グランパス・アキッパの **3社が連携**し、地域住民の方に向けて民間駐車場の活用を呼びかけ
- ・**個人宅・企業・喫茶店・病院など地域全体** で駐車場シェアを促進し、空きスペースの有効活用を推進
- ・豊田市も市役所の**立体駐車場を試合時にシェア**し、公共施設の駐車場活用を実施

取組状況
や成果

- ・豊田市内で約**1,500台の駐車場をお金をかけずに確保**し、イベント時の駐車場不足や混雑を緩和
- ・予約制の駐車場が増えたことで、**駐車場を探す車両が減少し、渋滞や迷惑駐車が大幅に改善、うろつき交通も削減**
- ・市の財源確保に加え、**駐車場料金が民間にも還元**。さらに来訪者の回遊増加により商業施設や飲食店の利用促進にも **つながる**
- ・豊田市・名古屋グランパスとの取り組みで **駐車場シェアを広げ、その他地域で実施される他のイベント時にもそのまま活用**
- ・新たなインフラ整備をせずに駐車場シェアを活用し、**他地域にも展開可能な持続可能な地域経済循環モデルが成立**

課題と背景

愛知県・豊田市は「クルマのまち」として車利用者も多く、車利用者も多い

駐車場不足の影響

豊田スタジアム・・・駐車場不足やそれに伴う交通混雑、迷惑駐車が発生
(サッカー・ラグビー・アメフトなど試合開催時)

豊田おいでんまつり・・・先着順のため駐車場の開場待ちの渋滞が発生
(市内で最大級のイベント)

地域住民の影響

周辺道路の渋滞や迷惑駐車により日常生活での移動に支障がでる

従来 of 解決策が難しい理由

新規インフラ整備にはコスト・時間がかかる
既存の駐車場を有効活用する新たな手法が必要

解決策と取り組み内容

豊田市

アキッパ

名古屋グランパス

2019年7月、三者が連携し周辺の **民間駐車場・行政施設の活用を促進**
個人宅・地元企業・病院など、地域全体で多様な駐車場シェアが浸透



豊田市も市役所の立体駐車場を貸し出す

豊田スタジアムでの試合時はもちろん、おいでんまつりなどのイベント時など
1年を通して駐車場不足を解消し混雑緩和に取り組む

- ・スマホで事前予約&決済 → 駐車場確保のストレスを軽減
- ・現地での駐車場探しが不要に → 渋滞・迷惑駐車減少
- ・事前予約による交通混雑の分散 → 周辺住民への負担軽減

アキッパの導入で
これらの
困りごと解決も

取り組みの成果・発展

豊田市・名古屋グランパスとの連携により予約できる駐車場が増えたことで、民間参加型の「駐車場シェア」が地域インフラとなり、様々な交通課題への取り組みが進んでいる

2023年



続々と各イベント・スポーツクラブと連携

2023年9月



B1・シーホース刈谷
刈谷市アリーナ周辺の
駐車場課題にも取り組む

2024年7月



「豊田おいでんまつり」
※地域の大規模イベント
学校校庭など有料予約化し
大会の財源確保にも貢献

その他 多くの地域イベントで活用



ラグビーの試合
自動車ラリーイベント など

豊田市内に予約可能な駐車場
約1,500台確保



- 解決した課題
- ・混雑緩和
 - ・駐車場不足
 - ・地域経済循環

通常時にも活用、人を呼びやすい街に

イベント開催時以外にも「家族の元へ訪問しやすくなった」「マンションに友人を呼びやすくなった」など
通常時にも駐車場を活用することで市民の生活環境も改善

持続可能な取り組みとするためのポイント

- 駐車場の貸し出し費用は一切不要、初期投資や機器の設置も必要ない ため誰でも気軽に駐車場運営ができる
- 24時間・365日対応可能な緊急ダイヤルや有人チャットのほか、駐車場シェア専用保険の完備などオーナー・ユーザー双方が安心してサービスを利用できる環境 となっている
- 周辺の駐車場開拓はアキッパのパートナー（代理店）が現地で駐車場開拓をおこなうほか、クラブや市による訪問、自治区会議等でアキッパの案内やチラシ配布などにより駐車場の数を増やすことに成功
- 駐車場の利用においては、市やクラブでの周知活動により、スポーツの試合やイベントで足を運んでいたドライバーの利用促進をおこなった
- 駐車場の事前予約に加え、スタジアムやイベント開催場所からの距離に応じて駐車場の価格を変えたことによりさらなる交通分散ができ、混雑解消が実現
- アキッパは全国に40以上ものプロスポーツクラブ、20近くの自治体との連携実績があるため、スポーツクラブ・市・地域で豊田市同様のモデルの展開が再現可能、今後は全国での課題解決に取り組む



取り組みのまとめ

駐車場シェアを広げることで、以下を実現している

- ・ **イベント開催時の駐車場不足解消 / 混雑緩和**
- ・ **新たな経済循環モデルの成立**
- ・ **地域創生：シビックプライドの醸成**

- 今回の取り組みは、単なる駐車場の確保ではなく「地域資源を有効活用し、持続可能なまちづくり」を実現している
イベント開催時に地域が賑わう一方で、周辺道路の混雑が課題となる。市やクラブは街を訪れる方にスムーズに足を運んでもらいたい、地域の方の生活環境も守りたいという想いを持っている。地域の方も、街が活気づくことを喜びながらも、交通渋滞や迷惑駐車には不安を抱えている
クルマのまちとして、アクセスの多さを理解しつつより良い方法を模索するなかで、アキッパがその解決策となり、市・クラブ・地域全体の協力が広がった。ただ駐車場を確保するだけでなく、お互いを理解し連携することで、駐車場不足や混雑解消にとどまらず、地域経済の活性化にもつながる持続可能なモデルが生まれた
アキッパでは今後も各地域で展開することで交通課題はもちろん街の賑わい創出に努めていく
- シェアのポイント
今回の取り組みでは駐車場シェアだけではなく、他にもシェアの形があると考えている
-既存の駐車場の有効活用(駐車場シェア)
-交通混雑など負荷のシェア(分散化)
-経済効果のシェア(地域への還元)
-持続可能なモデルのシェア(他地域への展開)
- 【参考】豊田市内の駐車場利用者の声(一部抜粋)
-グランパスの試合に行くのに以前は駅のパーキングを利用したが、スタジアムまで遠く、パーキングを探すのにも苦労しました。今回はスタジアムに近くに駐車場を事前に予約出来たので大変助かりました！
-豊田スタジアムまでが近い上、近くにコンビニもあり、帰りも渋滞に合うことも無く、ノーストレスで利用することができました！県外からグランパスの試合を観に行くのに使いましたが、大満足で帰ることができました。
豊田スタジアムへ行く機会があれば、また利用したいです。
-豊田おいでん祭で使用させていただきました。
メッセージも丁寧でスムーズでした。また混雑回避のアドバイスもいただけとても助かりました。
来年もまた利用させていただきたいと思いました。
ありがとうございました。

本取り組みにより成立した地域経済循環モデルとシビックプライドの醸成

シェア駐車場で実現する新たな地域経済循環モデルとは？

地域で開催される各イベント時を中心に、民間が貸し出した駐車場に予約が入ることで
駐車場オーナー(個人・企業・自治体)にも駐車場収益という形で収益が循環されていく。



本モデル成立による地域創生・シビックプライドの醸成

地域に多くの人が集まると、街中の混雑により不便を感じる市民も多い
自ら駐車場を貸し出し地域の交通課題解決に参加することで、

地域に誇りを持ち、その地域を良くするために貢献しようとする自負心 =シビックプライドが醸成



豊田市内のアキッパ駐車場の収益例 と 地域への経済効果

駐車場貸し出しページ



豊田市のアキッパ シェア駐車場 普及状況



イベントでの収益について(一例)

イベント時売上げ
 年間約50日:1台あたり1,000円~5,000円程度で販売

※イベント規模と会場からの距離によって変動
 ※ダイナミックプライシングでの料金設定

▶ **×1,500台分の経済効果**

※駐車場売上の一部がアキッパ手数料となります。

街中回遊施策によるにぎわいの創出 へもチャレンジ

イベントで豊田市にきた人が街中を回遊する取り組みも考案、駐車場シェアが広がることで様々な課題へ取り組んでいくことが可能に

2023年8月、DeNA株式会社と合同でイベントに参加した方に向けて豊田市内での回遊を促進させる実証実験も行った



取り組みの概要

「商業施設の駐車場割引特典」のように、試合観戦を目的に対象日に豊田スタジアム周辺の駐車場をアキッパで予約したサポーターが、豊田市内の特定の店舗にて買い物や飲食したレシートの写真を送るとアキッパの割引クーポンを後日プレゼント。

アキッパは利用者へのキャンペーン告知と対象者へのクーポン配布を担当しDeNAは対象店舗のレコメンド機能開発とアキッパ公式INEアカウントにてレコメンド店舗情報をユーザーに提供する業務を担当。

アキッパ サービス概要

使っていない空きスペースを ネット上で簡単に時間貸しできる 駐車場シェアサービス

アキッパは、ドライバーと駐車場のマッチングをサポート。
ドライバーが支払った駐車料金から手数料を除いて、
駐車場オーナーに報酬としてお支払い。



会員(ドライバー)

登録料・月額利用料 **¥0**

アプリで
駐車場予約
& 支払い



無料掲載



報酬



駐車場オーナー

登録料・月額利用料 **¥0**



<https://www.akippa.com/>

完全成果報酬型の為、コストを一切かけずに駐車場を増やすことができます。

導入可能な場所

様々なスペースがアキッパに駐車場として登録されています。



個人宅駐車場



月極駐車場



更地・空き地



マンション付属駐車場



コインパーキング



立体駐車場



商業施設駐車場



機械式駐車場



タワーパーキング



店舗駐車場